

(第1-1号様式)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5 年 6 月 15 日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良県大和郡山市横田町81-1

氏 名 株式会社アイ工務店 支社長 居石靖弘

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0743-85-5853

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社アイ工務店 奈良支社
事業場の所在地	奈良県大和郡山市横田町81-1
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	06 総合事業場
② 事業の規模	元請完成工事高 436680万円
③ 従業員数	37名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	新築廃棄物→各現場で発生した廃棄物は委託収集運搬にて回収し、委託集積場に集め、処理委託業者にて処理。 解体廃棄物→各現場で発生した廃棄物は委託収集運御暗射にて運搬し、処理委託業者にて処理。

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)	
現場推進部 ↓ 建設部長 (産廃処理統括責任者) ↓ 建設部業務 (産業廃棄物管理担当) ↓ 工事現場管理責任者 (産業廃棄物管理責任者、特別管理産業廃棄物管理責任者)	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (令和 年度) 実績】		別紙参照
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 現場担当が各現場ごとに指示、処分場にて邸別に実数量を計測、週に1回の会議にて報告。		
②計画	【目標】		別紙参照
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 施工方法の具体的改善により廃棄物を各工程より削減する。		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類 (コンクリート塊)、木材を分別。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記に加え、管理型処分産業廃棄物と安定型処分産業廃棄物とに分別を予定。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
（これまでに実施した取組）			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
（今後実施する予定の取組）			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		別紙参照
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、正面による契約を実施。			

	【目標】	別紙参照	
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
②計画	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>可能な限り有料認定処理業者から選定する。再生処理を中心にした産業廃棄物処理業者の選定を促進する。</p>		
※事務処理欄			

